

# 成竹山ハイキング

【報告者】A・I

【日時】2017年12月3日（日）

【天候】晴れ

【参加者】CLT橋、I丸、K田、A・I

## 《コースタイム》

登山口スタート 9:25 ⇒ 広場 10:45 ⇒ 行き止まり 11:10

成竹山 11:50 ⇒ 展望所 12:00-12:35

登山口ゴール 13:50

## 《 報 告 》

山行募集の文句「低山」「落ち葉サクサク」「展望所」という言葉に引かれてすぐさま参加表明。その言葉に偽りはなく、小春日和のなか、素敵な木漏れ日が差し込む整備されたほぼ平らな道を、サクサク落ち葉を踏みしめながら、もし山で10億円見つけたら分配の割合をどうするかという話で盛り上がりながら歩く。登山道の横には清流が流れ、こんな近場にこんな素敵な山があったのかと再認識する。

おしゃべりをしていたら、あっという間に山頂への分岐がある広場に到着。行ったことのない道を開拓してみようということで、成竹山山頂へは向かわず一の岳へ。しかし、棘のある植物がやたらと生えているうえ、遠くに見える登山道らしきものは崩壊している。先に進むことはあきらめ、広場へ引き返す。

山頂への道は（私にとって）急。事前に「私、急登を登ると眠くなるんです」という謎の脅し文句を会話の随所にちりばめておいたおかげで、みんなに置いていかれることなく無事頂上までたどり着く。成竹山山頂はちょっとしたスペースがあるだけで、こんなものかといった感じ。すぐさま展望所へ。

展望所からの風景は、福岡市が一望でき、夜景が綺麗そう。夏なら花火大会だって見えちゃうかもしれない。

登りはフワフワした素敵な道だったのに、下山時は石がゴロゴロしている急な下りで、途中何度かスツツびそうになる。「次来たときは、絶対来た道を引き返す」と、こっそり胸に誓う。

今回の山行は、想像をかきたてる石垣あり、沢を登るバイクあり、モニュメントのような青空トイレあり、と、大変心に残るものだった。



展望所からの風景

《概念図あるいはルート図》

